

松江東高校魅力化 ニュースレター

vol. 9
2020.03.05

高校魅力化コンソーシアム先導モデル事業研修会に参加



2月7日に県主催で開催された高校魅力化コンソーシアム先導モデル事業研修会に参加しました。パネルディスカッションでは東高校の代表として魅力化推進部長の手銭先生が登場し、本年度の取り組みを通じてうまく機能

した点や今後の課題について発表を行いました。また、先導モデル校別の分科会では、野々村校長先生より、コンソーシアム設立までの経緯を振り返り、どのようなところで壁にぶつかり、どう対処したかといったことを発表しました。

会場からは、コンソーシアムマネージャーが果たす役割などの質問もあり、コンソーシアム構築を目指す上で、高校の教職員だけでは負担が大きいのでは？と捉える様子が垣間見えました。

教員研修を実施しました

2月21日、22日に「プロジェクト伴走者のためのスキルアップセミナー」を開催しました。この研修は島根大学の高須先生にコーディネートしていただき、京都大学大学院経済学研究科の平方文哉氏、シャープ(株)の山田慶太郎氏、(株)伊原組の竹内信二氏を講師にお招きして、「TOCfE (Theory of constraints for Education) =教育のための制約理論」のうち「ブランチ」と「ATT (Ambitious target Tree)」を学びました。

公開研修としたため、高校教育関係者や民間企業の方なども参加されました。21日に46名(校外19名)、22日に37名(校外15名)

でした。

本校教員と外部参加者の方が一緒になってワークショップ形式で「TOCfE」を実際に体験してみる中で、自身の思考が視覚的に捉えることができ、探究的な学習だけでなく、教科指導にも活用できそうだという声が多く聞かれました。



コンソーシアムの各種ワーキングが始動

12月の松江東高校魅力化コンソーシアムの設立以降、各種ワーキング(WG)が本格的に始動しています。



教育プログラム開発WGでは、令和2年度のMATSUE探究のカリキュラムおよび生徒評価のためのルーブリックの作成を進めています。

また、魅力化戦略WGでは、自立した持続可能なコンソーシアムとなるための戦略や、次年度新たに実施を予定している東高カフェへのアイデアなど、様々な観点からご意見をいただいています。

発行者

魅力化コンソーシアムマネージャー
福井 香衣 (ふくい かい)



教育プログラム開発WGで鋭意作成中のルーブリックは教員と外部の方が一緒になって議論を深めていて、まさにコンソーシアムが目指す協働の姿だなと感じます。